



緊急避妊薬について②

緊急避妊薬とはノルレボ（一般名 レボノルゲストレル）という薬で、避妊措置に失敗した又は避妊措置を講じなかった性交後 72 時間以内に服用することで妊娠を阻止することが期待される薬です。

適 応 症：緊急避妊

主 な 副 作 用：消退出血、不正子宮出血、頭痛、傾眠、悪心、倦怠感、めまい、月経不順、下腹部痛、下痢、腹痛、嘔吐 など

＜緊急避妊薬が、通常の避妊方法に向かない理由について＞

上記の薬は女性の排卵を遅らせることにより、卵子が受精することを防ぐ効果があります。しかし、排卵自体を失わせるわけではないので継続した避妊効果はなく、服用後の性交では妊娠する可能性があります。また適切に服用した場合であっても、「通常の避妊薬」に比べて妊娠阻止率は低いです。

計画的に避妊する場合は、より効果が高い「通常の避妊薬」を考えましょう。

「通常の避妊薬」

低用量ピル(卵胞ホルモン・黄体ホルモン製剤)、ミレーナ(子宮内避妊器具) など

(参考) ノルレボ錠 1.5mg 添付文書

https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/ResultDataSetPDF/470007_254900AF2024_1_06

＜性感染症とコンドーム＞

性感染症は性交を介して感染する病気の総称で、不妊や母子感染に繋がる深刻な病気です。特に近年、国内で 20 代女性の梅毒が増加しています。

梅毒は母子感染により、死産や新生児が心身障害など重篤な症状の先天梅毒になるため注意が必要です。

多くの性感染症は、コンドームなど物理的な避妊具で防ぐことができるため、避妊だけでなく性感染症予防のために避妊具を使用するようにしましょう。

(参考) 厚生労働省 性感染症 梅毒が拡大しています

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/index.html

適切な治療の一助になりますことを願っております。

※ 掲載内容は発行当時の情報です。

※ 転載、複製、改変等は禁止です。

